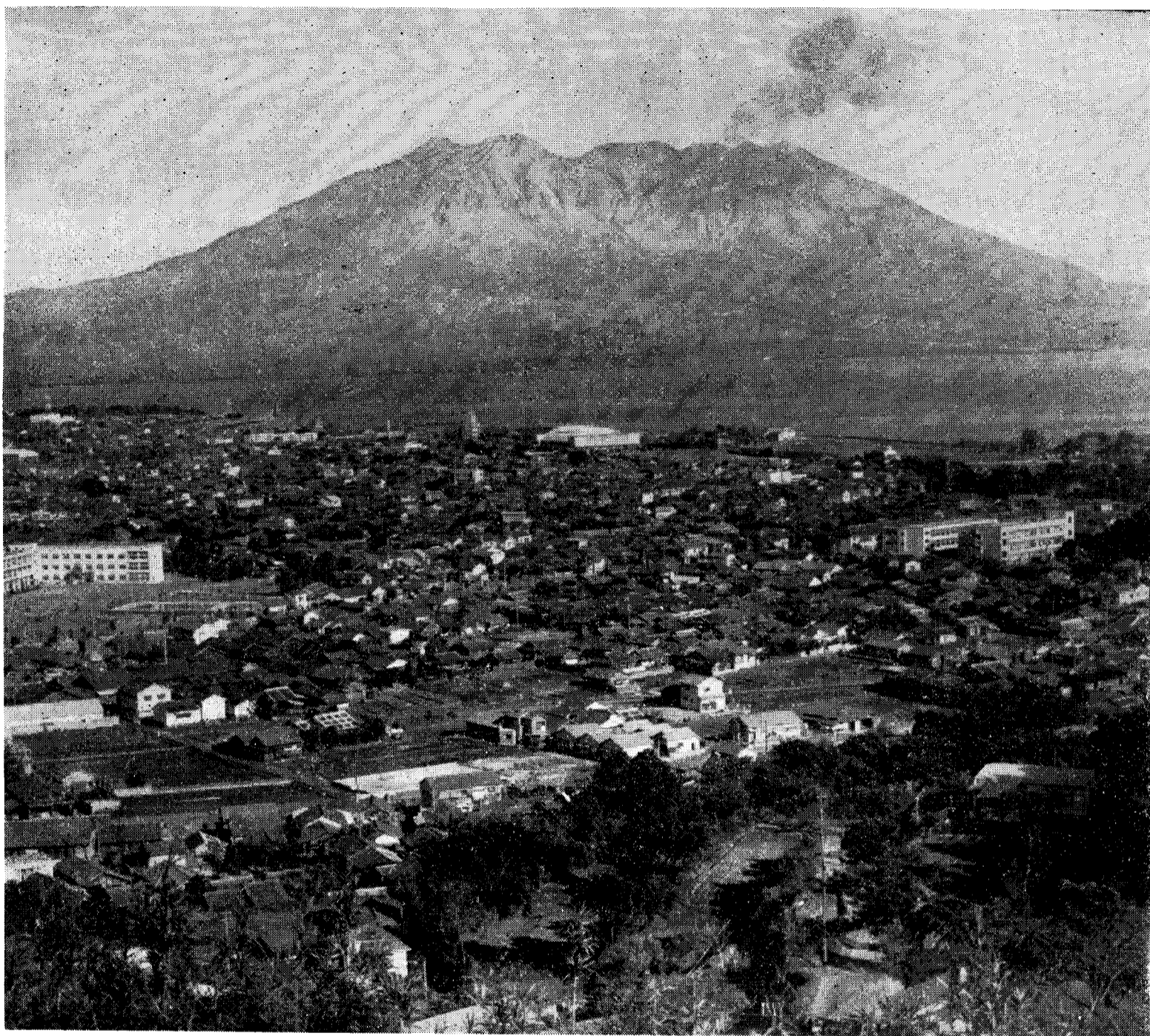


1963 謹賀新年



発行所
鹿児島市秘書課
編集人 藤山良弘
発行人 南日本新聞社印刷局

市の現勢

人口	146,253
男女計	161,222
世帯数	307,475
面積	81,222
広がり	180.58km ²
東西	25.55km
南北	16.90km

—11月1日しらべ—

市民年始会

鹿児島市中央公民館ホール

昭和三十八年元旦 午前11時

写真は郡元町紫原団地からみた市街地

輝やかしい市政を推進



みなさんと共に、新しい年をお迎えできましたことを心からおよろこび申し上げます。
私は市長就任以来、たえず積極的にして、発展的な市勢を築くために、高い希望と夢をもって、市政の推進につとめております。

さいわい、市議会当局や、市民の皆さんのご協力によって、市政が順調に進展いたしておりますことは、誠によろこびにたえません。しかしながら、今日の複雑化した地方行政には、どうしても解決しなければならぬ緊急の問題が山積しておりますので、消極的な現実のみにとまどうことなく、それぞれの問題を、将来の確固たる信念と、見通しに立って、大胆にしかも着実に取組んで参りたいと存じます。

とくに本年は、地方選挙も行なわれますので、新しい選良によって、市政が推進されることとなりますが、あくまでも地域住民の利益とあわせのための市政が推進されてゆくことを願ってやみません。

私も新しい気持で、全力をあげて輝やかしい市政を樹立し、みなさんの期待と信頼にこたえたいと存じます。

一九六三年元旦

鹿児島市長平瀬實武

積極果敢に懸案を達成

新年明けましておめでとうございます。まず皆様方のご清福を心からお祈り申し上げます。

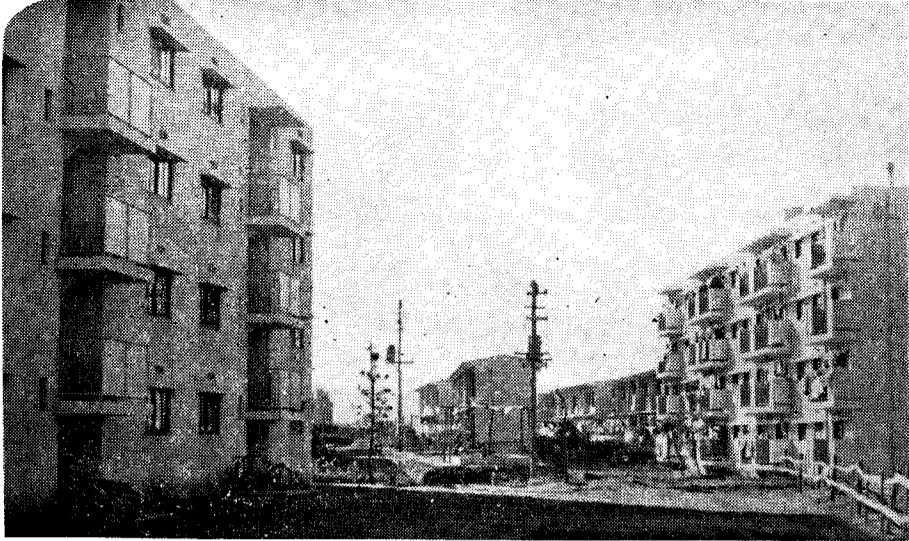
昨年は、市県政を通ずる重要課題が、相次いで生じし、文字どおり、多事多難をきわめた一年でありました。すなわち 本県の後進性の打破、ひいては本市の国際観光都市への踏台ともいふべき、大型空港建設問題、高校急増対策の一翼である工事誘引問題、大鹿児島市建設のための隣接市町村合併問題をはじめ、市民関心のまるとある路上駐車場の設置、また、じん芥の定時収集の検討など、誠に、近年の市政まれに見る難問題や緊急案件が続出したのであります。

しかしながらその反面、市政各般を展望しますと、財政多難の中にありながら、皆様方の心強いご協力により、時勢に即応した新しい施策が、積極果敢に遂行されつつあり、ひとしくご同慶にたえません。

本年は、いよいよ改選となりますが、我々は、この意義深い新年にあたり、深思反省して過去四カ年の至らざるを償い、足らざるを補って有終の美をかざり、全市民の信頼と期待に応える決意を新たにしております。

一九六三年元旦

鹿児島市議会議長石井真一

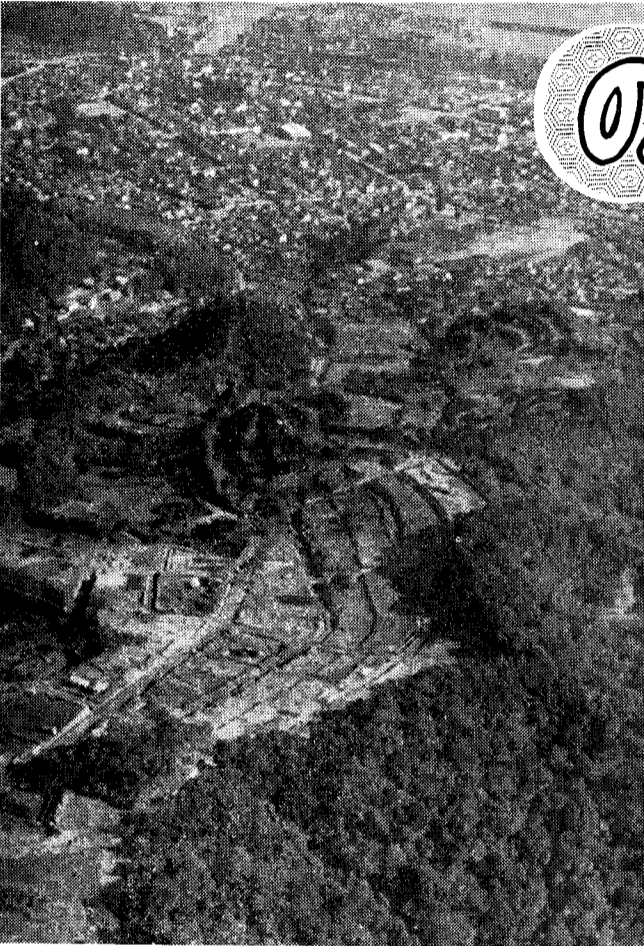


近代美を誇る市営アパート群(紫原)



日増しに変ぼうする紫原住宅団地

のびゆく市政

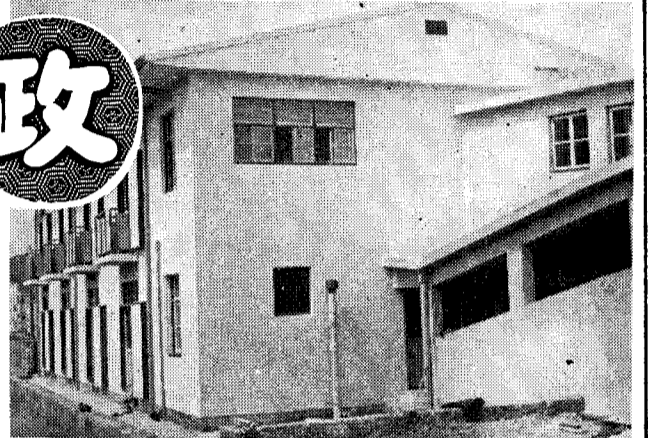


宅地造成へ急ピッチ坂元町上之原団地

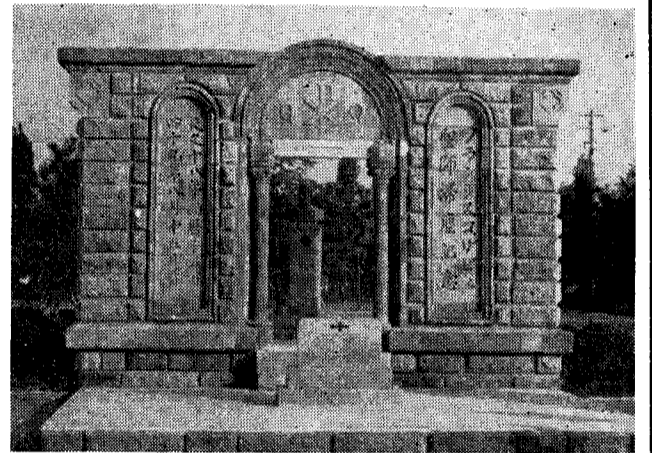
昨年はいろいろ市政のために、ご協力いただきました。ありがとうございます。

この一年の歩みのいくつかを、アルバムからひろいあげてみましたが、おかげさまで、かなりの成果をあげることができました。

ことしは、さらに新しい気持ちで住みよい明るい町づくりのために努力いたしたいと思っておりますので、市民の皆さんもどうぞよろしくお願いいたします。



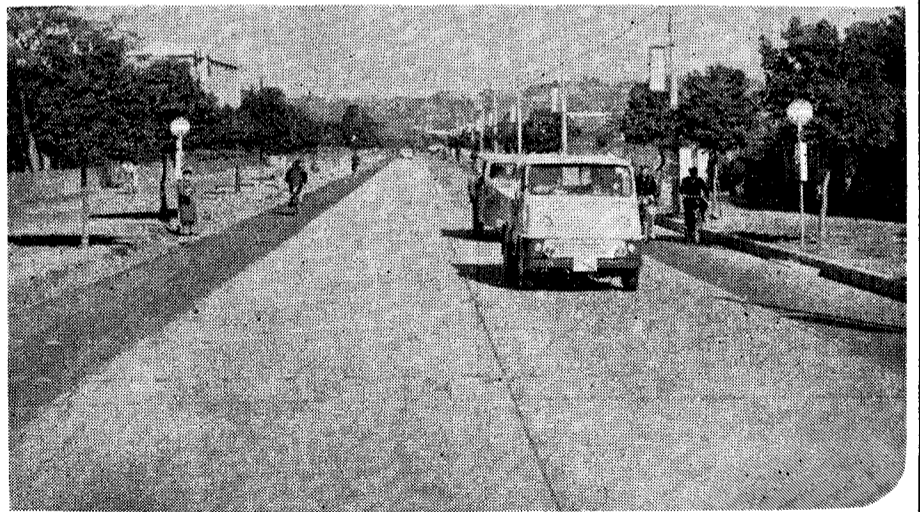
耐火構造になった玉里園の養老施設



永久に保存されるザビエル記念碑



西駅前にも新設された市設観光案内所



完全舗装された高麗通(鹿大前)

新年初詣バス 初日拝観バス

寺山公園行き

発車地 市庁前・西駅前・城西公園前・水道局前・伊敷町バス終点・交通局前・鴨池小前

発車時刻 各発車地を元旦午前六時発

料金 おとな一〇〇円 こども五〇円

五社まいるり

発車地 照国神社大鳥居下

順路 照国神社―磯天神―南洲神社―城山展望所―護国神社―松原神社

期日 一日・二日・三日・七日・午前九時半から午後四時まで 二十分置き(約二時間)

料金 おとな一〇〇円 こども六〇円

1963年 第10回

成人式

とき 昭和38年1月15日午後2時

ところ 中央公民館ホール

○満20才になられた方

○服装は簡素に

○記念植樹・演奏など

宅地の分じょう

坂元町上之原団地

場所 ○坂元町上之原団地

○市電長田町電停から徒歩十五分

宅地の面積

○個人用 三十坪から一五〇坪まで一〇三筆

○法人用 一八四坪、三〇二坪、四九八坪の三筆

申込みの資格

○自分の居住する住宅を建てる人に限る

○市内居住者または市内に勤務先のある人

申込み方法

○市役所3階 土地開発課へ

○一月二十一日(月)まで

売却方法

○一筆ごとに入札(一月下旬)

○くわしいことは土地開発課へおたずねください。